

下町河川 Tomorrow

東京都の江東内部河川流域連絡会の情報紙（会議録）

平成18年7月14日（金）

第23回（第4期第5回）江東内部河川流域連絡会を開催



会議の様子

小名木川景観整備の説明中

- ・「第23回（第4期第5回）江東内部河川流域連絡会」を、午後2時から約2時間半で江東区文化センター5階第6・7会議室において会議を実施しました。
- ・都民委員14名と行政委員10名等が参加しました。名簿は6ページ
- ・主に、「平成18年度の江東内部河川での事業」と「小名木川の景観整備」について、意見交換しました。

会議の概要

まず、行政委員（江東治水事務所、都下水道局、墨田区、江東区、江戸川区）から、平成 18 年度の江東内部河川に関する主な事業や河川工事にあわせた周辺環境の整備事例等について説明が行われました。そして、小名木川の景観整備（案）についての説明が行われました。それぞれについて、行政委員と都民委員との意見交換が行われました。

最後に、都民委員等より、平成 18 年度に江東内部河川で行うイベントについて報告が行われました。

平成 18 年度の江東内部河川に関する主な事業

江東治水事務所の主な事業

No	事業名	No	事業名
1	北十間川低水路整備工事(その 18)	6	大横川南支川護岸建設工事(その 3)
2	小名木川低水路整備工事(その 5)	7	水門管理システム改修工事(その 5)
3	小名木川低水路整備工事(その 6)	8	清澄排水機場テレメータ設備補修工事
4	旧中川堤防整備工事(その 22)	9	木下川排水機場外溝フェンス改修工事
5	小名木川護岸整備工事(その 1)		

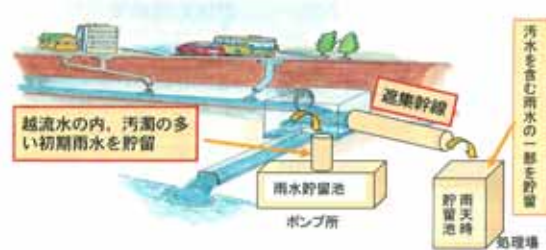
下水道局の重点事業



1. 遊集幹線の整備



2. 雨水貯留池、雨天時貯留池の建設



墨田区

事業名	区域	期間
中平井橋架け替え整備工事	墨田区東墨田一丁目先	H17.9.1～H20.10末
橋梁維持工事(その 1)	新野川橋	H18.10.1～H18.12.28
(仮称)旧中川桜植栽工事	旧中川(吾妻P～木下川P)	H19.1中～H19.2下

江東区

江戸川区

小名木川歩行者・自転車専用橋（仮称）新設工事概要	
橋梁本体形式	単純鋼床版鈹桁橋 橋長 28.4m 幅員 4.0m
スロープ部形式	単純鋼床版鈹桁橋（三連） 大島側 橋長 45.8m 幅員 2.4m 砂町側 橋長 46.5m 幅員 3.0m
工事期間	H18.11～H20.3末（予定）



河川工事にあわせて堤防沿いの道路改良を実施しました。

事業についての意見交換

都民委員 行政委員

毎月どこかしらでやっている浚渫工事は、今年やる予定はあるのか。

日常的な浚渫工事の担当は、都第一建設事務所になりますので、次回情報提供します。

小名木川歩行者・自転車専用橋の歩道部分と川、車道の関係が良くわからない。この場所は図ほど車道の幅がないように思う。

南側（砂町側）及び、北側（大島側）も河川敷内の空間を活用して歩道部分（スロープ）設置するため、車道の幅員が減ることがない計画となっています。

小名木川歩行者・自転車専用橋の照明で、星空に明かりが逃げないか心配である。

詳細を詰めていく中で、笠をつける等、星空に明かりが逃げないようにしたいと思います。

小名木川歩行者・自転車専用橋の設置により、景観が損なわれないようにしてほしい。

ご意見をもとに、江東区とともに検討していきたいと考えています。

近年の集中豪雨に対するポンプ所の能力は大丈夫なのか。将来、100mm の雨に耐えるものを考えているのか。

下水道局では1時間 50mm の降雨にも大丈夫なように整備を進めており、現段階では、これできるだけ早く完成させることが先決と考えています。

大島ポンプ所で下水を入れ替えるということだが、どういうことか。

大島ポンプ所の放流渠は水が溜まりやすい構造となっていたので、その水を入れ替えるということです。

1時間 50mm を超えた降雨の場合では、旧中川の河川敷のどれくらいの高さまで水が上がってくるのか。

水位 A.P. -1.0m を維持するように、ポンプを運転します。

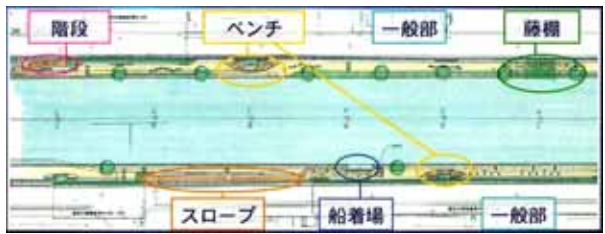
小名木川景観整備（案）について

整備方針（案）

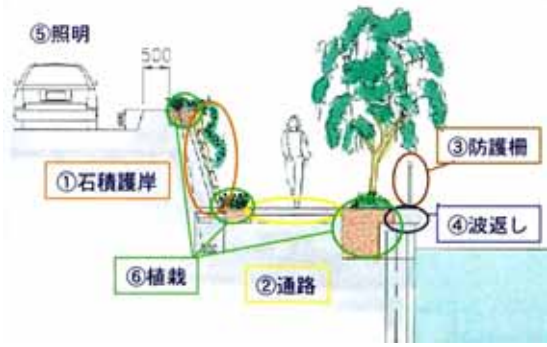
以下の4つの部位に分けて検討

- (1) 一般部（石積護岸・通路・防護柵・波返し・照明・植栽）
- (2) アクセス部（階段・スロープ）
- (3) 休憩施設（藤棚・ベンチ）
- (4) 船着場

イメージ



一般部



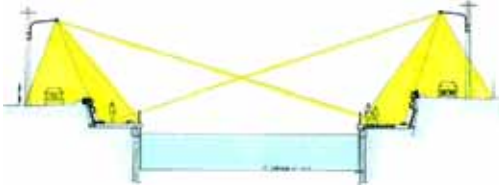
石積護岸



通路



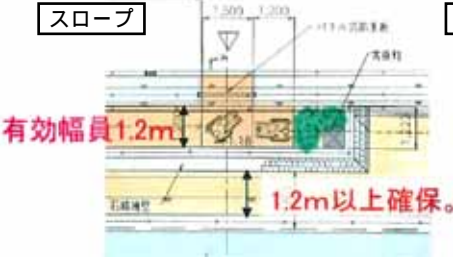
照明



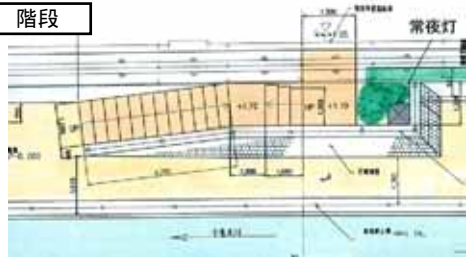
名称	考え方	対策
石積護岸	・石積み風護岸で江戸情緒を演出	・雑割石積（城壁風の積み方）とし、武者返しを設置。 ・コンクリート護岸前面に残存化粧型枠工法で石張り ・使用する石は、天然石（安山岩・グレー系）
通路	・通路幅は標準 2.0m、最低 1.2m を確保（東京都福祉のまちづくり条例、道路構造例等） ・「塩のみち」らしさを表現 ・メンテナンス性を考慮	・通路幅が狭く危険なため、自転車は通行禁止。（注意看板等により自転車の通行禁止を明示） ・洗い出しコンクリートが基本 ・アクセス部の出入口や休憩施設・船着場は鉄平石乱張りとし、一般部との違いを強調。
防護柵	・江戸情緒を演出するデザイン	・木柵に近い質感で、耐久性のある合成木材。 ・高さ 90cm。
波返し	・船舶通航による波が高水敷に被らない ・石積み風で江戸情緒を演出	・河川を走行する船舶の波を反射する構造物。 ・側面は化粧型枠（自然石張り）。
照明		・区道の車道照明を活用。
植栽部	・現代の風景（周辺の高層マンション等）を隠蔽 ・防犯上の死角、通航の支障を作らない。	・低水護岸沿い：柳を 15m 間隔で列植

アクセス部

スロープ



階段



名称	考え方	対策
スロープ 階段	・東京都福祉のまちづくり条例に準拠 ・車椅子のすれ違いに配慮 ・江戸情緒を演出する際のポイント	・有効復員 1.2m、勾配 5%以下。 ・スロープ上部に車椅子の退避スペース。 ・照明は江戸情緒を演出するモニュメント的なもの。 ・蹴上 15cm、踏面 35cm とする。 ・自然石の石積でつくる。 ・天端部において入口がわかるように植栽柵を設置する。

休憩施設		
		
名称	考え方	対策
藤棚	・高齢者に配慮した休憩施設のある散策路	・スロープと階段の間に1箇所。
ベンチ	・江戸情緒を感じられる休憩施設	・スロープと階段の間及び石積護岸突出部前後に2箇所。

船着場		
		
名称	考え方	対策
船着場	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸の河岸を演出 ・緊急時の物資輸送に使用 ・船舶通航の波対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・長さ5.0m、幅1.0mとして、水面より二段高さとする。 ・スロープの位置に1箇所。 ・水勾配を十分に取り、水はけを良くする。 ・照明は江戸情緒を演出するモニュメント的なものとする。

小名木川景観整備（案）についての意見交換

都民委員 行政委員

私たちはリバーガイドを養成しており、きれいになった小名木川を船で案内できればと考えている。その際、話術でより江戸情緒を醸し出せるよう、付近の名所・旧跡や渡し跡の案内を掲げて欲しい。

灯火のきれいなとき（夏の夜）に船を走らせられたらと考えている。

我々も船着場周辺に案内板を設置することを考えていました。今一步踏み込んで今のご意見に答えられる工夫があるかと思いました。

植栽や防護柵で、道路や水面から石積みが見えなくなるのではないかな。

現在のスペースでは、自走式の車椅子や自転車で散策路を通行するのは難しいのではないかな。

また、我々も自転車は無理だと思うので、区と協議して、地元の皆さんにしっかりと説明して自転車を入れられないことをご理解いただこうと思っています。

通路幅が1.2mではすれ違いは無理ではないかな。また、2人並ぶと渋滞を起こすのではないかな。

一般部は2.0mの通路幅を取れることを確認しています。1.2mと通路幅が狭い箇所は、お互いに傘を傾けて譲り合う江戸しぐさですれ違うような雰囲気作り等も必要と思います。

防護柵の高さは90cmでもよいが、横段を低い位置につけて子供等が乗り出しにくくしてほしい。

波返しについて、水質向上の視点から酸素供給を増やす対策を検討してほしい。

まず、水質浄化が大事ではないかな。緑も視覚的な効果考えた植栽だけでなく、水質が向上するように水生植物を大事にするべきではないかな。

小名木川はシートパイルを打っていて（地面が直になっていないので）難しいと思いますが、江東内部河川内で可能な箇所、考えたいと思います。

高木等の植栽は、30年程立つと構造物に悪影響を与えないか心配である。

その他

都民委員から「旧中川灯籠流し」「水彩フェスティバル」「ふれあいレガッタ」、江戸川区から「新中川フェスティバル」などが報告されました。

流域連絡会の今後の予定

次回の流域連絡会は、9月を予定しています。

江東内部河川流域連絡会・委員名簿

平成 18 年 7 月 14 日現在
敬称略 都民委員は区別・50 音順

		住 所 ・ 団 体 名	氏 名
都 民 委 員	個 人	墨田区	阿久沢 八代
		墨田区	石井 貞光
		墨田区	清道 洋一
		墨田区	田中 兼勝
		江東区	菊地 進一
		江東区	氷見 修三
		江東区	山広 勲
		江戸川区	芦田 正次
		江戸川区(勤務地)	堀内 仁之
	江戸川区	山内 久二	
団 体	江東区の水辺に親しむ会	須永 俣子	
	江東区和船友の会	松島 信治郎	
	旧中川灯籠流し実行委員会	江頭 正恭	
	小松川平井地区連合町会	谷川 貞夫	
	江戸川区ボート協会	渡辺 秀郎	
		所 属 ・ 職 名	氏 名
行 政 委 員	墨田区都市計画部都市整備担当道路公園課長	渡辺 茂男	
	江東区土木部水辺と緑の課長	荒川 順二	
	江戸川区土木部計画課長	高井 聖	
	東京都環境局自然環境部水環境課長	芳賀 道子	
	東京都下水道局建設部土木設計課長	中島 義成	
	東京都下水道局東部第一管理事務所ポンプ施設課長	森田 茂	
	東京都建設局河川部副参事(河川管理制度担当)	熊本 敬治	
	東京都建設局河川部副参事(総合治水・低地河川防災計画担当)	大八木 猛	
	東京都建設局第五建設事務所管理課長	本間 秀生	
	東京都建設局江東治水事務所内部河川工事課長	伊藤 政行	
東京都建設局江東治水事務所水門管理課長	土屋 彰夫		

座長

連絡先：江東内部河川流域連絡会事務局（東京都江東治水事務所内部河川工事課内）

担当：吉岡、田村

TEL：03-3692-4945(直通) FAX 03-3696-6499

Email-address：S0200225@section.metro.tokyo.jp